



私のすすめるこの1冊

那須 一夫 (附属図書館 職員)

『高校生からわかる「資本論」』(池上彰の講義の時間)

池上彰(著)

「高校生からわかる」ということでは、大学生の皆さんには少々ここでの紹介には失礼にあたるかもしれません。ただ、書店を覗くと、「14歳からの〇〇・・・」という名の書籍が、堂々と専門書と共に書棚に並べられているのを見受けられますので、まずはご容赦ください。ちなみに、本書は高校3年生、卒業生たちに集まってもらい、著者が解説、まとめた、『資本論』をわかりやすく説明した内容となっています。

『資本論』、そしてその著者カール・マルクス(1818-1883)は、大学生の皆さんにはその書名/名前は知っておられる方も多いと思います。ただ、実際に『資本論』本体、或いはその解説書について触れられた方はそれほど多くはないのでしょうか。

今回の紹介書は、マルクス『資本論』を、ジャーナリストの池上彰氏が講義するという書籍です。池上氏はテレビはじめ、いろいろなメディアなどにも出られ、こちらも皆さんにはご存じのことでしょう。

さて本書ですが、『資本論』第1巻から特徴あるいくつかのフレーズを抜き出し、それを個々解説していくことで、『資本論』の大枠が理解できるという形式を採っています。一部、口語的調子で記述されていることは気になりますが、専門の経済学者による小難しい学問的解説でなく、今日私たちが生きる日常の労働状況/生活に即しながら話が進められており、読者にはその内容は理解しやすいと思われると思います。

尤も、日常に即しながらの著者のコメントも、『資本論』

がイデオロギー的に読まれることに対してはこれを拒否し、「私が押しつけることはありません」と池上氏は書いています。押しつけられないこと、それは『資本論』(或いはその解説書)に接し、読み、消化し、内部化するかは、自分なりに読み手が行き、ある必要な際、それを砕き、表出する(または、それをしない)ということで、私には理解しています。

『資本論』の解説書は、大学教授著の専門書からマンガで表現されたものまで、これまで多く出ています。いきなり『資本論』本体を読み始めることは難しいでしょうが(池上氏も大学生時代、挫折したとか)、混沌としているこの世の中で、今見直しがされている『資本論』(本書第1巻参照)に、解説書からでも良いので、個々好き好きアプローチされても良いのではないかと思います。

池上氏は、『資本論』は読解困難と書きつつも、「もしあなたが学生で、社会で働いたことがないとすれば、働くようになったときに、「ああ、このことだったんだ」ということがわかるようになるはずです」と書いています。この後の皆さんご自身のことはもちろん、教員になった際には、いろいろな児童/生徒/学生/家庭/経済環境にも接することとなりますでしょう。この時、『資本論』は経済学、或いは哲学の古典として、振り返りの基になると考えます。

最後に、本書の内容については、十分な紹介ができておらず、その周辺の話が中心となりましたが、まずは本書を立ち読みでも良いので、手に取っていただくことでお許しください。

開催中!

第4回教育展 「先生を目指した女性たち—京都府女子師範学校の歩み—」

ぜひご覧ください



京都教育大学のルーツのひとつである京都府女子師範学校について、そこで行われた教育や地域社会との関わりを中心にをご紹介します。

【会期】11月11日(金)～2023年1月10日(火)
※日曜・祝日、および12/3(土)、12/24(土)、年末年始の12/28(水)～1/4(水)は休館

【時間】9時～17時または9時～21時(附属図書館の開館日時に準じる)

【会場】附属図書館 北館1階企画展示室
【入館料】無料



← 講演会の様子



学修相談カウンター ミニ講座を実施しました



11/15～12/6にかけて、学修支援員(本学大学院生)が自ら考えたテーマで、ミニ講座を5回実施しました。学修支援員はそれぞれ、実際に自分が使用した参考書を紹介したり、教材を用いて実習をしたりと内容を工夫しており、質疑応答も含めて参加者と交流しながら講座を実施してくれました。おつかれさまでした!



↑教材を用いて

←ミニ講座の様子

学修相談も受け付けています!

スケジュールや担当分野
などはホームページ等
でご確認ください。



第4回教育展関連講演会を開催しました

12月10日(土)に、附属図書館の研修セミナー室で第4回教育展関連講演会「先生を目指した女性たち」が開催されました(参加者:30名)。基調講演に國學院大學准教授の多和田真理子先生をお迎えし、「近代信州の女性教員たち」というテーマで、明治期の教務日誌をもとに当時の女性教員たちがどのように考え働いていたかが紹介されました。続いて本学社会科学科准教授・教育資料館次長の中村翼先生から、「京都府女子師範学校の歩み」と題して今回の展示資料の解説が行われました。参加者からは、「100年以上前の教員を目指す女性のことやそれに対する社会の反応を知ることができ、貴重な学びを得た」「現代にもまだ続く問題もあり、教員養成をしていく上で学生に伝えたいことも明確に持てた」などの感想が寄せられました。

第4回教育展は、2023年1月10日(火)まで、附属図書館北館1階企画展示室にて開催しています。普段は教育資料館の収蔵庫に保管されている資料もありますので、是非この機会にご覧ください。



学生によるブックレポート展示コーナー

テーマは文系・理系シャッフル読書!

必修科目「教育の理念と歴史」(神代准教授担当分)との協働企画として、受講生が選んだ図書館の本と、内容やおすすめポイントをまとめたブックレポートをセットにして展示しています。



貸出できます

【場所】1階渡り廊下

【期間】2022年12月16日～2023年1月31日

京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第34回の報告

YouTubeで公開予定です
※YouTube公開のみです

【講師】谷口和成(理学科 教授)

【テーマ】理科学習における認知発達の影響

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



企画展示室(北館1階)

美術領域 1 回生企画展[仮]

【会期】1月12日(木)~1月25日(水)
個性豊かな作品がたくさんです!

第13回

京都教育大学附属学校園こども美術作品展

【会期】2月1日(水)~1月8日(水)
こども達の表現をぜひご覧ください。



リクエストと投票で話題の本を読もう!

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています!リクエストや投票にどんどん参加してください!

1月の投票期間は1月10日(火)~1月24日(火)

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入しています。

他機関からの複写物・図書の取り寄せはお早めに!

国立情報学研究所のシステムが停止するため、下記の停止期間は他機関からの複写物・図書の取り寄せができません。申込予定の複写物・図書の取り寄せがある場合は、お早めにお申し込み下さい!

※京都府内の図書館の資料取り寄せは可能です。

【複写物・図書の取り寄せ停止期間】

1月23日(月)~1月31日(火)

※お申し込みされる場合は1月19日(木)までをお願いします。1月20日(金)以降のお申し込み分は、2月1日(水)以降の処理となります。

日曜開館

試験期間前の日曜日(1月29日、2月5日)を9時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひご利用ください!※大学入学共通テスト再テストのため、1月29日は閉館となる場合がございます。



児童書コーナー(南館1階)



今月の絵本カード(学生作)
『だるまさんが』
作:かがくい ひろし
出版社:ブロンズ新社



※児童書コーナーに
かわいいカードが
飾られていますの
で、ぜひ見に来て
ください。

好評開催中!

第10回 京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー
2023年3月25日(土)まで
※本学は連携参加大学です。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【1月の開館日時】
9日(月・祝)、16日(月)、23日(月)、
30日(月)、14:00~17:00

今月の逸品(12・1月)
『日露戦争三十年植樹記念碑』
展示場所:教育資料館

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>



論のくちび理のむすび

今回の執筆者 竹間 光宏 (京都小中学校 教員)

小中学校における統計的思考の様相 — 「気質 (dispositions)」による意思決定への影響 —

竹間光宏・上田美智穂・市原義之・深尾武史

京都教育大学紀要 2022, No. 141, pp. 1-14

URI: <http://hdl.handle.net/20.500.12176/9760>

新学習指導要領において、算数・数学を一貫した「データの活用」領域が新設されました。小中学校においても様々な実践報告がなされており、統計教育のより一層の充実が図られています。一方で、日本学術会議数理科学委員会数学教育分科会(2020)では、「統計教育の実効性を高めること」が緊急提言の1つとされており、まだまだ課題も残ります。学習指導要領解説に問題・計画・データ・分析・結論の5つの段階からなる統計的探究プロセス(いわゆるPPDACサイクル)が明記されるようになり、これに基づいた教材開発や授業実践が進められています。しかし、その過程で働く統計的思考の様相についてはまだすべてが明らかにされているわけではありません。それを明らかにすることで、よりよい統計教育の実現に向けた教材開発や授業実践に活用することができると考えています。

そこで本論文では、PPDACサイクルを提唱したWild & Pfannkuch(1999)の「実証的研究による統計的思考の4次元枠組み」について概観し、統計的思考の枠組みを捉えようとししました。その結果、統計的推論やメタ認知に関する先行研究との関連を示すことで、思考に影響を与える情意や人格である「気質(dispositions)」が統計的思考の基盤として重要であることが示唆されました。さらに、事例として義務教育学校第3学年の算数「表とグラフ」の授業における子どもの様子についても考察しました。

今後は様々な事例をより質的に分析しながら、引き続き小中学校における統計的思考の様相について明らかにし、その促進に向けて研究を進めていきます。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 141号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERE)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2023年1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1/6 授業再開
1/14-1/15 大学入学共通テスト
1/28-1/29 大学入学共通テスト再テストのため、閉館となる場合がございます。

2023年2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2/4 大学院入試(学外者利用不可)
2/6-2/10 後期末試験
2/25-2/26 学部前期入試

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(QRコード→)



京教図書館 News No.268 (2023年1月号)
発行日: 2023年1月4日
編集発行: 京都教育大学附属図書館
問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION